

広報まめじま 6月

回覧 大豆島交番
026-221-9272
作成 三原 日菜

夏期の水難防止

水難は、例年6月から8月にかけて多く発生しています。

特に、魚釣りや水遊び中に溺れたり、ボートから転落するなどの水難が後を絶ちません。

過去には、子供のみで川遊び中に流されたり、レジャー中のカヤックが転覆するなどして、死亡する水難が発生しています。

「水」に対する危険性について、家族や仲間と話し合い、地域全体で改めて危険箇所を点検するとともに、魚釣りや水遊びの際には、ライフジャケットを着用するなど、必要な安全対策を進めましょう。



水難に遭わないために次のことに注意してください。



1. 子供から目を離さない

過去には、親や保護者が付近にいながら、子供から目を離した隙に、池等に転落する水難が発生しています。子供は、活動的で常に動き回ることを念頭に、子供を遊ばせるときは、周囲に危険箇所がないかを確かめ、目を離さないようにしましょう。

2. 魚釣りや水遊びは複数で

一人で魚釣りや水遊びに出掛けると、万一水難に遭った際には助けを呼ぶことができません。

なるべく複数で出掛けるとともに、ライフジャケットを着用しましょう。

また、子供だけで遊んでいる場合は、周囲にいる人が注意してあげましょう。

3. 危険箇所の点検を

普段は干上がっている河川敷でも、局地的な豪雨によって短時間で水位が上昇する場所があります。各家庭や地域等で危険箇所を点検するとともに、危険箇所の管理者に事故防止施設の設置を要望するなど、安全対策を講じましょう。

「性犯罪被害

ダイヤルサポート110」

0120-037-555

※24時間対応

- ・ 月～金：午前8時30分～午後5時15分
→女性警察職員が対応
- ・ それ以外の曜日・時間
→警察本部の当直員が対応



突然の被害にあい、どうしたらいいのかわからなくなっていませんか？

不安なことを誰にも話せずひとりで悩んでいませんか？

あなたの一歩踏み出す勇気から、警察は、被害を知り、犯人を捕まえるための捜査を進めることができます。「ケガしていないし・・・」「大事にしたくない」「私がこのまま我慢すれば・・・」と思わず、まずご連絡ください。

警察では届出や捜査に関しての不安や疑問についてのご相談もお受けしています。

まずは、話してみませんか？



まずは話してみませんか？

～性犯罪被害、ひとりで抱え込まないで～